KOYAMA FUKUSEI HOSPITAL

かえでの森

第９０号　　２０２２年 １０月　１日

発　行　所／神山復生病院　〒412-0033御殿場市神山109　(TEL)0550-87-0004　(Fax)0550-87-5360
(E-mail)info@fukusei.jp　(ホームページ) https://www.fukusei.jp/

《 理　　念 》

神山復生病院は　キリストの愛に基づいて　病める人も健やかな人も　神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら　一人ひとりの命を大切にし　希望をもって医療と福祉に献身します

３ヶ年計画の実行と IT 化

事務部長　森田秀一郎

現在、当法人では、基盤整備のために年度を上半期と下半期に分けて 3 ヶ年計画を策定し実行しています。令和 4 年度上半期は、水道管工事、敷地内の看板の新規設置とリニューアル、ホスピス病室の修繕を実施しました。下半期は、小規模多機能型居宅介護事業所「マリアの家」にて、利用者様が雨に濡れないようにするために、玄関に庇を含めたカーポートの設置と病院の医療機器の洗浄機と滅菌器の更新を予定しています。今後もまだ整備しなければならないことが多々ありますので、引き続き 3 ヶ年計画をしっかりと策定し、実行していきたいと考えています。また法人全体のＩＴ化も進めています。具体的にはまず職員の勤怠管理システムです。当法人は 2 年前まで勤怠の管理を出勤簿で行っていましたが、その後、タイムカードを導入し、現在は、ＩＣカードを導入しています。ＩＣカードの導入により職員の出退勤時間がしっかりと把握できるようになり、この勤怠管理システムは給与システムへ連動しています。また、経理業務についても業務委託している税理士事務所とネット上で業務を行い、経理業務の軽減に繋げています。更に今後のＩＴ化最大の取り組みとして、電子カルテの導入があります。1 年前より導入について話を進めていますが、医療機関の電子カルテシステムへのサイバー攻撃問題等もあり、現在中断しています。将来的に電子カルテの導入は実現させなければなりませんので、導入についての話し合いを再開する予定です。以上のようなことを含め、当法人もここで基盤をしっかりと整備し、ＩＴ化を進め、更に地域医療に貢献できるよう取り組んでまいります。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

防災研修

庶務　後藤和也

今年度の防災研修は、6月5日（日）の黄瀬川浸水想定区域を対象とした、「土砂災害全国防災訓練」の内容を踏まえ、「黄瀬川の氾濫を想定した風水害」、「線状降水帯による大雨災害の被害軽減」について、御殿場市役所危機管理課の職員の方々をお招きし、開催しました。

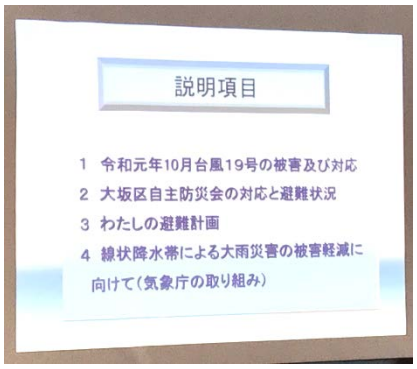
黄瀬川の氾濫を想定した風水害については、令和元年10月の台風19号による、神山区近辺で発生した被害内容をお話しいただきました。

上流にあたる沼田区諸久保橋が危険水位に達していたことや、病院の近隣にある大坂区18組では、同年6月、住民参加型の土砂災害・防災訓練を行っていた為、慌てずに早期の自主避難が行えたそうです。

線状降水帯による大雨災害の被害軽減については、線状降水帯が発生するメカニズムから気象庁の取り組みをご説明いただきました。

線状降水帯は、その範囲内で集中豪雨が発生し、ゲリラ豪雨のように数分で止むのではなく、30分、1時間と長く続くことから、土砂災害に繋がると言われています。そのため、浸水想定区域の方々が早目の避難ができるよう、予測情報の精度を段階的に上げていく取り組みがされているそうです。

皆さんの住んでいる場所やその地域にある川も、大雨が降って氾濫する危険性があるかもしれません。起こらないと考えるよりも、避難先はどこになるのか、どのくらい早い段階で避難して良いのか等々、慌てずに避難行動が取れるように、地区の担当者の方に聞いてみてはいかがでしょうか。



実りの秋

記念館　森下裕子

イチジク

栗

まだまだ暑い日が続いていますが、朝晩は涼しくなり秋を感じられるようになりました。復生病院の中にも秋の味覚が実っています。イチジクや栗、柿やクルミそして銀杏等。それらは、まだハンセン病の方々が多くいらした、昭和に植えられた物がほとんどです。ここにいても季節を身近に感じ、味わう楽しみもあったのだと思います。

中でも銀杏は、昭和10年の病院創立50周年の時、岩下壮一院長が植えたもので、80年以上経っています。ちなみにイチョウの木は生命力が強い植物で約1億5000万年前の恐竜時代から世界各地に存在していたそうです。

今年も沢山の実をつけています。一足早く味見をしましたが、美味しかったですよ。ただ、銀杏には有毒成分が含まれていて食べ過ぎると中毒を起こす人もいると言われています。美味しいからと言って食べすぎには注意してください。

復生病院では10月半ばくらいから販売予定です。

電子レンジで約 60 秒、ヒスイ色の実（仁）が出てきます

看看連携「みくりやの未来につなげる地域の輪」活動再開について

看護部長　杉山美貴子

団塊の世代が 75 歳を迎える 2025 年問題が目前に迫ってきた今、地域包括ケアシステムの構築はどこまで進んできているのでしょうか。「住み慣れた地域で、人生の最後の時まで過ごすことができる」。そんな希望を叶えるために、みくりや地域の看護職は 2019 年 3 月に第 1 回看看連携会議を開催し、「地域の看護職同士が、対象者の生活を支えるために、同じ目標をもって、信頼しあい、対等の立場で協働する」ことを目標に活動を始めました。しかし、新型コロナの感染拡大に伴い、参集型会議の開催が困難となり、また参加施設それぞれがコロナの対応に追われたこともあり、活動を休止せざるを得ない状況となりました。しかし、世の中が with コロナに移行してきたこともあり、2022 年 6 月看看連携会議を開催し、活動を再開することとなりました。これまで活動してきた 3 つのプロジェクトを、「元気でながいきサポート隊」と「Face to Smile&おしえて先輩」の 2 つにまとめ、新メンバーを加えての活動再開です。

静岡県において御殿場市の女性のお達者度（65 歳から自立して生活できる期間）は 5 年連続の第 1 位で、まさに「元気でながいき」を象徴する結果となりました。地域の特徴を活かしながら、住み慣れた地域で人生の最後の時まで住民の皆様が安心して過ごせるよう、このみくりや地域で働く看護職が共に手を取り合い、知恵を出しあいながら協働していきたいと考えております。　（＊スライドは厚労省 HP より引用）

病院看護管理者のための看看連携体制の構築に向けた手引き―地域包括ケアを実現するために―
＜概要＞

1．手引きについて－地域包括ケア実現に向けた看看連携－

（1）地域の関連機関間・職種間の連携体制の構築は、地域包括ケアを推進する上で重要

✓ 医療・生活支援を含む幅広い専門性を有する職種であり、多くの機関で活躍している**看護職は、連携の中心となることが期待**

⇒地域の看護職同士の連携（看看連携）促進により、看護の質の向上や、他職種を含めた連携の促進が図られることで、地域全体のケアの質向上にもつながり得る

✓ **看看連携**とは、地域の看護職同士が、**対象者の生活を支えるために、同じ目標をもって、信頼しあい、対等の立場で協働すること**

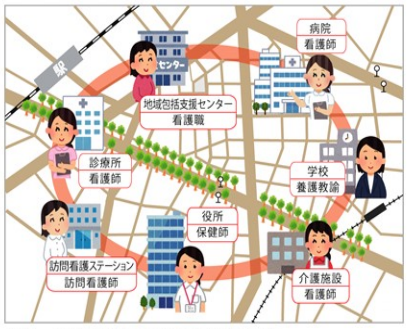


図1．看看連携の担い手となる地域の看護職

（2）本手引きの主な対象：地域医療の中核を担う病院（以下、中核病院）

✓ 本手引きでは、看看連携の中でも、特に**地域の医療連携の中核を担う中核病院と地域の看護職**が幅広く参加し、かつ看護の質向上に向けた取り組みを含む看看連携体制に着目し、実際の実践事例を通した、**看看連携の体制づくりのプロセス**を提示する

（3）在宅医療提供体制において病院看護職に求められる看看連携とは

① 退院支援：地域との入院時連携、訪問看護ステーションとの連携、施設入所者の入院に関する施設看護職との連携など

② 日常の療養支援：外来診療での重度化予防、地域の看護職との情報共有などによる連携、認定・専門看護師による地域への訪問など

③ 急変時の対応：緊急入院や認知症患者などへの対応、地域内の病院機能の把握と連携など

④ 看取り：終末期の症状緩和のための訪問看護や施設看護職との連携、意思決定支援や関係機関との情報共有、高齢者ケアや看取りについての市民への啓発の役割なども期待

今回のおすすめ　「ナチュラ・ルーチェ」

今回紹介するのは神奈川県足柄上郡大井町西大井にある、ナチュラ・ルーチェというお店です。店内には自家焙煎機があり、炒りたての新鮮なコーヒーをハンドドリップで、頂く事が出来ます。

コーヒー豆は１５種以上用意され、通うたびに新しい味を楽しむことが出来ます。

ブレンドのコーヒーも非常に人気がありますが、私のお勧めはスマトラマンデリンです。特徴としては、深いコクとほろ苦さのバランスが絶妙で甘いデザートとの相性もいいです。　お持ち帰りも出来ますので、近くまで行った時には立ち寄ってみてください。

紹介者　連携室　高村弥憲

外　来　担　当　表

緩和ケア外来は予約制

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午 前	内科（中原）	内科（北村）	内科（中原） 皮膚科（石地）	内科（江藤）	内科（江藤）	内科 （第 1. 3. 4 中尾） （第 2. 5 岡部） 皮膚科	休　診
午 後	休　診	休　診	緩和ケア外来 （江藤・中原）	休　診	休　診	休　診	

インフルエンザワクチン接種の予約を開始しました。

皮膚科外来予定表

11 月以降の診察は HP にてお知らせいたします。
もしくは、お電話にてお問い合わせ下さい。

太田有史　医師	１０月　１日（土）
金　宗訓　医師	１０月　８日（土）
太田真由美医師	１０月１５日（土）
福地　修　医師	１０月２２日（土）
石地尚興　医師	１０月　５日（水）・１２日（水）・１９日（水）・２６（水）

毎週水曜日午前に皮膚科外来を行っていますので、
皆さん是非ご利用下さい。

水道配管工事の進捗について

事務部　後藤和也

日頃より、当院敷地内の水道配管工事にご協力いただき、誠にありがとうございます。6 月末から始まった工事も、新礼聖橋側の入り口付近まで到達いたしました。

当初は 9 月上旬に完了を予定しておりましたが、雨天や台風の影響から、完了は 10 月上旬まで延期しております。

なお、延期に合わせて、日中の通行止めも期間が延びており、病院にお越しの皆様、近隣の皆様にはご迷惑をお掛けしておりますが、何卒、工事完了までの間、引き続きご理解、ご協力の程、宜しくお願いいたします。

編集後記

病院の周りでも稲刈りが終わってきました。新米の季節ですね。今年も美味しいご飯のお供と新米を食べたいですね。昨年話題になった『御殿場こしひかり』、あの騒動のおかげか全国の認知度も上がったとか…。私は以前、御殿場こしひかりの特別栽培米を食べたことがあります。普段から実家で栽培した御殿場こしひかりを美味しく食べていましたが、お店とか、特別に炊いたのではなく、自宅で普通に炊いたのに、明らかに違う！1 ランク上の美味しさでした。機会があったら皆様ぜひ食べてみてください。びっくりですよ。それではまた～次号もお楽しみに！！　ひ